

さ ざ ん か

第83号、2008年9月

ようやく朝晩も涼しくなってきました。それにしても、前半のくそ暑さと後半の梅雨末期を思わせる各地での集中豪雨にはびっくりしました。まあ今更、異常気象だ温暖化のせいだなどと詮なきことを言っても仕方ないので、迫り来る秋を楽しむことにしましょう。

なんとも無責任なことに「ぼく、やめた」と内閣総理大臣がやめてしまいました。病気で何でもないので。これは危ない。こんなに簡単に責任放棄が許されるのなら、医師不足で悩んでいる地方自治体の病院長なんかはみんな総理大臣に続いて「やめた」「俺もやめた」などと次々と名乗りを上げそうです。辞めてしまうと、少なくとも今よりはずっと楽になることは間違いのないことなのですから。

それでも、あえて格好よく言えば、地域医療を守るため、或いは病院存続のために頑張っているのが多くの自治体病院の院長始め大多数の職員達なのです。（だろう、と思います。一部の人は違うかも知れませんが。つまり単なる自己保身だけの人も勿論います。それも、世の中ですから）

世の中のお手本となるのが総理大臣だ、などと子供じみたことは（子供でもそうは思わない？）言いませんが、誇りとか使命感とかは一般の国民よりも、その代表である総理大臣は持っていて欲しかったなあと思いませんか。えっ、総理大臣って、そんな簡単なものなの？そんなに軽いものなの？と国民が思うことは、とても悲しいことであり、政治に対する信頼感の欠如はますます深まるのではないかと、まあ、実をいうとすでに政治不信で固まっている身ながらも、改めて感じたりするのです。出でよカリスマ政治家。スーパー首相。いやいや、そこまでは求めません。せめて、出でよ、地方勤務を厭わないドクター！でもいいのですが・・・条件のみで働き場所を決めないでくれ、地方は君達を待っている。などと叫ぶことに疲れて果てた時、安倍氏、福田氏のあとを追うことになるのでしょうか。

俳句1

西屋敷喜美子

地下足袋や 秋の野菜の 準備とす
 つつがなし 暮らす二人の 擦りリンゴ
 亡き母を 偲ぶ静かな 秋彼岸

病院からのお知らせ

- * 神経内科外来は火曜日が鹿児島大学からの応援医師、それ以外は高橋先生の担当になります。
- * 毎週第3金曜日の血液外来は前院長の野村紘一郎先生の担当になります。
- * 4月から研修医が当院で1年間の研修を開始しております。米澤英理先生です。よろしくお願いいたします。
- * 10月から脳神経外科常勤医がいなくなります。鹿児島大学病院から応援にきていただいている外来は週2回を維持できました。火曜日と金曜日です。お間違えないよう。
- * 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。適切な治療で骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。骨密度を上げるお薬を服用している方は、骨密度が上昇したかどうか確認してみてもいかがでしょうか。骨折予防は寝たきり予防につながります。骨年齢：あなたの骨は〇〇歳です。という表示が出ます。
- * MRIで脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中や認知症（ボケ）の予防につながるからです。また、脳動脈瘤の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。無症候性の病変（症状はないけど梗塞がある）がみつかると予防の治療を開始した方もおられます。寝たきりや認知症にならないためにも一度は検査されることをお勧めいたします。
- * MRIは腰痛の検査にも威力を発揮します（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）。あるいは肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。
- * マルチスライスCTで、心臓冠動脈造影ができます。心臓カテーテル検査の代わりにもなることもあります。遠方まで心臓カテーテル検査にいておられる方は是非ご検討下さい。その他全身の血管撮影に威力を発揮します。人は血管と共に老いる、といえます。MR血管撮影とあわせて利用できます。ご相談は各科の主治医にどうぞ。心臓の冠動脈造影のときは1泊2日の予定でお考え下さい。下肢の血管造影もCT、MRIを利用して可能です。
- * 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。

さつま狂句

天下りよ養しの為の国民の税金
孫んメール来れば厳し婆もニコッチなっ

目標になる人を見つけよう

宮園辰夫

若いうちから上手に年を取る努力をしないと、高齢化社会での楽しい老後はない。中高年の夫婦で男が先に倒れると妻に邪険にされて、ろくに世話もされない例がいくらでもある。下手をすると殺されるのがおちだ。妻の方に積年の恨みがあるのだろうか。威張って暮らしている亭主族はお先真っ暗だ。健康なうちから楽しいこと、嬉しいこと、いつも分かち合っって労わりあっていなければダメだ。

女が先に倒れると夫は一生懸命看病して、家の中もきちんとするらしい。元気な時の妻のありがたみが分かるんだろうね。丹精するという言葉がある。花や盆栽を育てるのと同じで、夫婦の間も丹精こめなければ、花器や茶器のようにはいかない。花器や茶器は古いものほど珍重されるが、それらも磨き込んで何時でも使えるようにしていないと意味がない。仕事をリタイアした男が昔は何をしていた等、こだわり、威張っているやつは良くない。今何が出来るかを人は判断してその人を決める。

若い人達の羨むような老人にならなければならないし、またなりたいもんだ。それには自分より年上のステキな目標になる人を見つけ暮らしていけたらと思う。年を取って仕事が出来なくなっても、ボランティアが出来る。国や市町村の行政が実施するつまらない行事も、地元と個人が楽しんでやる企画なら、心の寂しい人にも喜んでもらえるんじゃないかなあ。

人の一生は若い頃がどんなに立派でも偉い人でも老後がつまらなくて駄目だ。どんなに偉い人も立派な肩書きを持っていても、先まで持っていけるものじゃない。昔の人がいうように、どんなに良い家に住んでいても、嫁に行ったり、あの世の行く時は持っていけない。終わり良ければすべて良し。上手に老けるということは人生の有終の美だ。若い時に苦勞していい汗を一杯かいた人々にこそ、いい年寄りになってなってもらわなければと思う。人間、いつかは誰でも死ぬ。むしろ老いて自分のことを卑下せず、むしろ誇りをもって威張って生きていきたいものだ。みんな、そうしましょう。

短歌

しらじらと 萋の花咲く道行きて ひとつの恩伝はる如し
何事もなく二百十日過ぎてから二百二十日に稲穂がびくびく

俳句 2

庭石にアキと二文字散る落ち葉
草むらは虫の母となる秋の庭
コスモスが菊花にうつり秋の風

投げ出した総理の椅子

カラーマン（とその女）

私は子供の頃、日本でいちばん偉い人は総理大臣だと思っていた。（あら、いまでも日本でいちばん偉い人は誰？てきいたら 10 人中何人かは総理大臣って答えるわよ。特に年配の人なんかはね）。末は博士か大臣か、の大臣のなかでももっとも地位が上の人だからとてつもなく偉いのだろうと思ってもむべなるかなである。（博士はお茶ノ水博士くらいまでは偉かっただろうけど、日本でいちばん数が多い博士号である医学博士なんてはいて捨てるほどいるし、あたしの知る限りろくな医学博士はいないわねえ。アホばかりだわ、もしくはスケベ）

いつ頃からだろうか。総理大臣が偉いと思えなくなったのは、IT 革命をイット革命とかいったりした総理大臣とか、愛人スキャンダルで辞任した総理大臣とか、その場しのぎの看板だけの総理大臣とか、まあその辺からではないだろうか。

かつて、学歴エリートを押しつけて今太閤とマスコミにもてはやされた田中角栄は確かに偉いと思ったし、今でも思っている。いま彼が歩いた道を同じように歩もうとしても時代はそれを許してくれないであろう。（マスコミって持ち上げて落とすのが最大の得意業だったわね、この頃からすでに。）一度は持ち上げられたマスコミに、一転、金権政治をずいぶんと非難され、自らその地位を譲らざるを得なかったが、それでも脳卒中に倒れるまではキングメーカーとして君臨したのはそれは金の力ばかりではなかっただろう。（なにかしら人間的魅力があったわね。善人にしろ悪人にしろね。）

日本列島改造論は、田舎にも高速道路や新幹線を通し田舎のハンディを少なくしようということであって、そのために沢山の工事費がかかっても当時では正しく、公平な選択であったと思う。（そうねえ、ものごとには時期＝ステージがあるものね。あの頃はあのやり方で良かったのだわ。目的は脱・格差社会だったのだから。馬鹿の一つ覚えみたいにその後も同じように公共事業ばかりしようとするアホ政治家が問題であって、角栄の時代に角栄がやったことは悪くないのよね。）

すでに新幹線を持っている地域の政治家は、いまごろ新幹線なんか作ってどうするの、

ムダはやめなさい、などとしたり顔で発言する。新幹線以外の公共工事なら私の選挙区には必要である、なんて言いながら。そんなアホ政治家が多いのは事実だが、それでも政治家の頂点である総理大臣はやっぱり偉いのだろう、と思う。アホのトップということでは決してないだろう。

海の向こう、アメリカでは大統領を選ぶのに国中あげて大騒ぎしている。誰が大統領になるかどうかで、国の進むべき道が決まるかのような騒ぎようだ。たかが1政党の候補者選別に大騒ぎするアメリカの国民性はそれなりに感心するが、それを大々的に報道する日本のテレビ局の節操のなさ、というか、ある意味での彼の国への劣等感みたいなものを感じてしまう。(別に民主党の候補者がオバマだろうがヒラリーだろうがどうでもいいのにね。大統領になったら注目してもいいけど、ただ民主党の候補者になるだけでなんでこんなに日本まで騒ぐのかしらね。だいたい、アメリカ人で日本の総理大臣の名前知っている人ってどれくらいいるのかしら。そもそも日本がどこにあるかも知らない人が多いらしいし、中国との区別もつかないらしいわよ。完全にアメリカに片思いってわけね。そして一部はアメリカかぶれってことかしら)

まあ、それでも選挙の重要さだけは伝わってくる。でも、日本の総理大臣は、安倍氏も福田氏も選挙で直接選ばれたわけではない。自民党が勝手に選んだだけだ。それでも十分だということだろうか。

選挙に対する彼我の違いは何であろうか。狩猟民族のリーダーと農耕民族のリーダーではその役割と言うか仕事内容の重みが違うのかもしれない。狩猟民族では、リーダーに狩りのセンスがないと狩の収穫がなかったりして、民族そのものの存亡にかかわったりするのだろうし、一方、米ばかり作っていたのんびり民族はリーダーなんてだれであっても稲刈りの時にはみんなで力を合わせて収穫していたからまあ、リーダーが田吾作だろか、与作だろうがあまり変わりばえしなかったのだろう。

それくらいリーダーシップに関しては違いがあり、アホとは言われながらもブッシュは8年間任期を全うした。(アフガニスタンを空爆したり、イラクに、おめえ大量破壊兵器を持ってるだろうといちゃもんつけて、有無を言わずフセインを殺したりもしたわね。結局持ってなかったのだけどね。日本政府はポチと揶揄されながらもそのブッシュについていったわね。)

一方で、我が日本国では、安倍ちゃんも福田のおっさんもあっさり総理大臣のイスを投げ出してしまった。それも、唐突に。なぜそういう気になったのだろうか。石の上にも3年とかもいう。つらくて厳しい職であっても、身を粉にして、あるいはその身が朽ち果てようとも職責を全うすべきではなかったのか。

1年はあまりにも短いだらう。(でも、短いけどアタシの大好きだった安倍ちゃんは結構、大胆で重要な改革をしたと思うけどなあ。教育基本法とか公務員改革とか。再チャレンジ可能な社会つくりと云っていたから、自らお手本を示して安倍ちゃんも再チャレンジすればいいんだわ。アタシって硬派の政治家って好きよ。外国にかぶれて大統領の前で、エルビスプレスリーの真似なんかする総理大臣よりははるかにすてきだわ)

日本の総理大臣はしがみつくような魅力のある職業ではないのだろうか。国の指導者としての役割は与えられていないのだろうか。たんなる、担がれた御輿にすぎないのだろうか。八方ふさぎのニッポン。農業も、畜産も、医療も、経済も、道徳も崩壊寸前である。もうすぐ決まるであろう新しい日本のリーダーはわれわれに夢と希望を与えてくれるだろうか。(あら、でもケネディ大統領は、国が何をしてくれるか求めるより、国のために何が出来るかを考えなさいって言って有名になったのよ。何でも他力本願では駄目じゃないかしら。) うーん。まあ余り期待しないでおいたほうが無難かなあ。でもそれって、なんか寂しい気がするなあ。

秋刀魚の歌 佐藤春夫

あはれ
秋風よ
情あらば伝えてよ
一男ありて
今日の夕餉に ひとり
さんまを食ひて
思ひにふける と。

さんま、さんま
さんま苦いかしょっぱいか
そが上に熱き涙をしたたらせて
さんまを食ふはいずこの里のならひぞや。
あはれ
げにそは問はまほしくをかし。

編集後記

メタミドホスダだかなんだか発音のしにくい、これまで聞いたこともなかったような名前の毒物は、環境問題について遅れた(と内心で優越感を味わっている)中国の話しかと思っていたら、ひとつとではありませんでしたねえ。ま、世の中こんなもの？(KT)
